

多自然川づくり取り組み事例

タイトル：神代川かわまちづくり

水系／河川名：五ヶ瀬川水系 神代川 一級

河川分類：中小河川

河川の流域面 km²

整備計画流量：55m³/s(W=1/30)

セグメント：M

事業：環境整備

事業開始年度 平成26年度

目標設定：定性的

段階：D(実施・施工時)

課題・目的(主な)：流下能力の確保、水環境改善、瀬・淵の保全・再生・創出

工法(主な)：掘削(河床)、護岸整備、河道法線修正、魚道、落差工、帯工等の整備、階段工の整備

配慮事項(主な)：河川景観への配慮、歴史・文化への配慮、委員会、協議会等の開催

背景・課題、目標設定

＜背景＞

昭和30年代までの神代川は、水量が豊富で水性生物も多く、さらに「天真名井(あまのまない)」(※)をはじめとする多くの史跡が神代川周辺には存在していることから、昔から地元住民に親しまれ、地元住民の生活には欠かせない河川であった。

しかし、一方で水害も多い河川でもあったことから、昭和47年から河川改修工事が行われ、直線的でコンクリート三面張の河川となってしまったことから、古代を彷彿とさせる環境・景観が失われ、親密であった「人」と「かわ」の関係は疎遠になった。また、豊富だった「天真名井」の湧水も減少してしまい、現在も「人」と「かわ」の関係は希薄のままである。

※高千穂神話にある「水の種」として古くから崇拝される湧水池。「神代川かわまちづくり計画」が始まるきっかけとなった史跡。

＜目標＞

- ・かつての自然豊かな環境や景観を再生させ、「人が神代川と触れ合うことができる環境」へと再生させる。
- ・高千穂地域の持つ神話・歴史という文化的資源を生かし、神話の里としてのイメージの確立を図る。
- ・地域の人びとの生活・文化を結び付け、地域の賑わいを創出させる。

取り組み内容・対策例

＜整備計画＞

神代川の昔の姿へと再生させることを目的に、現在の「**直線的な河川**」をかつての「**蛇行した河川**」へと整備する。併せて、「**親水性**」にも配慮した計画を立てた。



水理模型実験

治水安全度については、九州大学と連携して、水理模型実験を行い検証を行っている。



モニタリング結果、アピールポイント、今後の対応方針

＜今後の対応方針＞

- ・**神話・歴史という文化資源の活用方法の検討**
→神代川周辺には、神話や歴史が根付く史跡が多くある。この資源を活用したかわづくりを実施、高千穂町の魅力を更に向上させる。



・自然資源の活用方法の検討

→現場で確認された資源を可能な限り使用することで、かつての自然環境へと再生させる。



※水量がない神代川にとって、湧水の利活用方法の検討は、一番の検討事項である。

・地元住民との継続的な取り組み

→継続的に地元住民を巻き込んだイベントを開催し、地元住民の神代川に対する機運を高める。



地元協議会

検討委員会

地元小学校との連

備考

問い合わせ先 宮崎県西臼杵支庁河川砂防担当

電話番号 0982-72-3191

かわまちづくり事業による 神代川の再生について

Keywords : 神話の伝承, 環境再生, 地元との連携

Before

あまのまない
整備前の天真名井



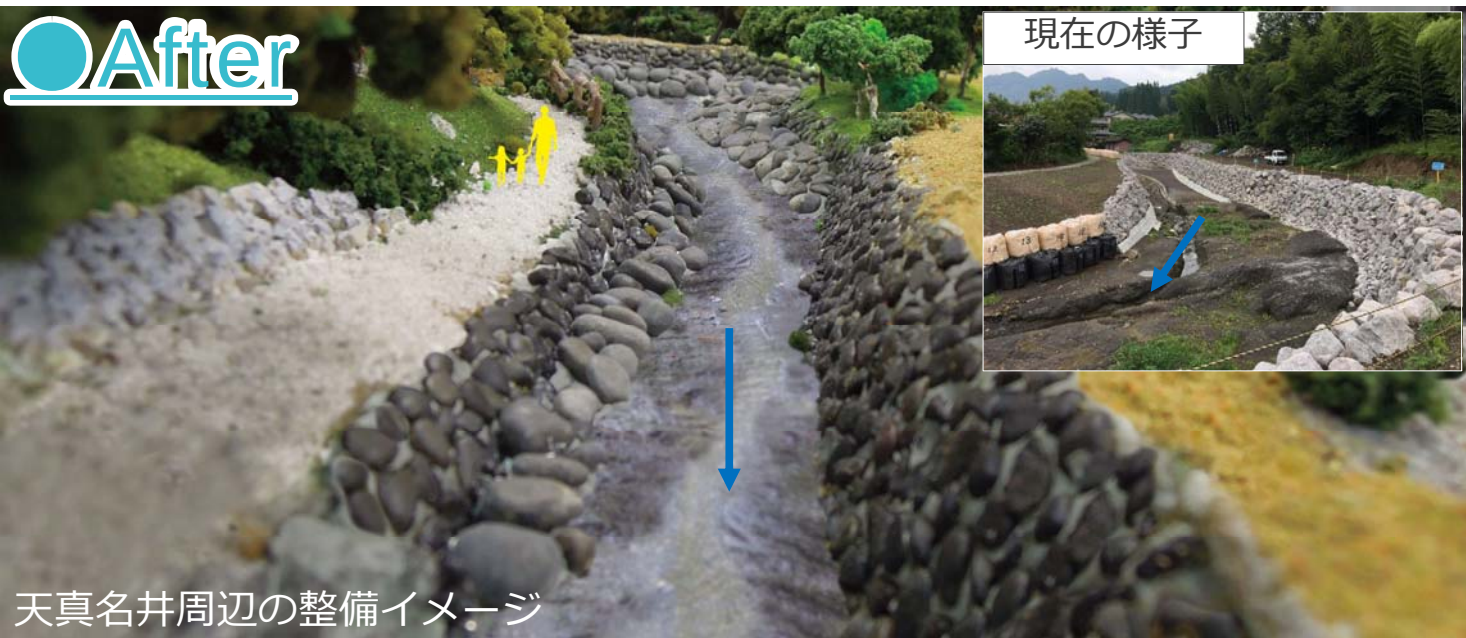
～天真名井～

「高千穂神話にある「水の種」として古くから崇拝される湧水池。
「神代川かわまちづくり計画」が始まるきっかけとなった史跡。

昭和40年代の様子



After



天真名井周辺の整備イメージ

現在の様子



昭和47年からの河川改修工事により、直線的でコンクリート三面張の河川となり、古代を彷彿とさせる環境・景観が失われ、関わりの深かった「人」と「かわ」の関係は疎遠になってしまった。天真名井を象徴とするかつての神代川への再生に向けた検討・施工内容、及び行政と地元住民が連携した取組について紹介する。